

学校教育目標	「自分を高めつつ、仲間とかかわり、互いに認め合える子」 知：課題解決に向け、主体的に学習する子を育てます。 徳：自分も友だちに大切に、感謝する気持ちをもてる子を育てます。 体：自分や他者の生命を大切に、自らの健やかな体をつくる子を育てます。 公：地域を愛し、小さなことでも社会のためにと考えて行動する子を育てます。 開：歴史や伝統がある二俣川や横浜、日本のことを尊重しながら、国際的視野をもてる子を育てます。				
	学校概要	創立 147 周年	学校長 泉 太郎	副校長 船木 淳	2 学期制 一般学級：18 個別支援学級：2
児童生徒数： 596 人		主な関係校：万騎が原中学校、万騎が原小学校、南本宿小学校、さちが丘小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	万騎が原中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力> <問題発見・解決能力>	万騎が原中学校 二俣川小学校 万騎が原小学校 南本宿小学校 さちが丘小学校	主体的に行動し、自ら学び、互いに高めあうことのできる子ども ・万騎が原中学校に入学するまでに育てたい「自分づくりに関する力」の資質・能力を共有していく。 ・「自分づくりに関する力」の中の資質・能力が育成できるよう、小中学校合同の授業・研究会や本校重点研の中で手立て等を検討・実践していく。

中期取組目標	「笑顔いっぱい 友達いっぱい」の学校にします。 ○安心して学べる環境をつくり、自己有用感をもてるようにします。 ○豊かな心で関わり、考え議論する子どもを育てます。 ○主体的・対話的で深い学びになるように、誰もが「わかる」「できる」が実感できる授業をつくります。 ○学びの連続性を意識した自分づくり教育を進めます。 ○保護者や地域学校協働本部と連携して、パートナーとして子どもの育成にあたります。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①基礎基本の定着を図り、分かる授業作りを進め、どの児童も楽しんで参加できる授業作りを実践する。 ②問題解決のために必要なことを、身近な生活と関連づけながら自分なりに考え、話し合う活動を通して、解決方法を工夫してねばり強く取り組めるようにする。
担当 学力向上・学習評価部	
豊かな心	①めあてを掲示するなど、児童が自分の役割を意識して活動するための具体的な手立てを講じていく。 ②道徳の時間に、日常生活の経験を振り返ったり、学習の総合化を図ったりすることで、友達と協力して互いの良さを認め合う機会を増やす。
担当 道徳部・人権教育部・学年推進委員会	
健やかな体	①体育の授業や運動委員会主催の体力づくり週間と連携し、児童が日常的に体力づくりに取り組めるような長期的な取組の計画を立てる。 ②保健の授業や学校保健委員会等の取組、給食指導を通して、児童が生活習慣を見直す機会を設ける。
担当 体育部・食育部	
児童指導	①「ルール＆マナーブック」を見直したうえで、全職員で内容の共通理解を図り、指導にあたり、各学級でも生活目標の取組に合わせて子どもと一緒に確認する。また必要に応じて確認する。 ②各学級で子どもたちが自分たちの学校生活を見直せる機会を設ける。
担当 児童指導部・人権教育部	
特別支援教育	①特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育部会を定期的開催し、情報共有を進める。 ②特別支援教育研修を実施して、全教職員の特別支援に対するアンテナを高くするとともに、支援を要する児童への効果的なアプローチを継続して行う。
担当 特別支援教育委員会	
地域連携・学校運営協議会	①学校の様子を発信し理解をいただきながら、地域学校協働本部とともに学校と地域との協力体制を構築する。人材活用資料を見える化し、計画的な連携を図れるようにする。②地域やその他の人と楽しく交流し、地域への愛着をもつとともに、自分らしい生き方やあこがれる生き方について考えることのできる教育活動を工夫する。
担当 教務・地域連携部	
いじめへの対応	①月1回の定期開催の他に、未然防止と実態把握を確実に行うために、年数回のアンケートを適切な時期にとるとともに、日々の情報交換を密にし、早期対応、早期発見を目指し積極的に支援検討会を開く。 ②いじめ防止研修を実施して、全教職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、いじめ防止を意識して意図的に授業に取り組むことで、だれにとっても居心地のよい学校づくりを進める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	②仕事の効率化を図る業務改善の見直しと改善に取り組む。チーム力を生かした学年・学校運営を充実させ、教育効果を上げながらも働き方改革を進める。
担当 教務・メンター	